

内部空間デザイン

「木材を活用した明るく親しみの持てる内部空間」



■ 内観イメージ (町民ロビー)



■ 内観イメージ (2階待合ロビー)

平面計画

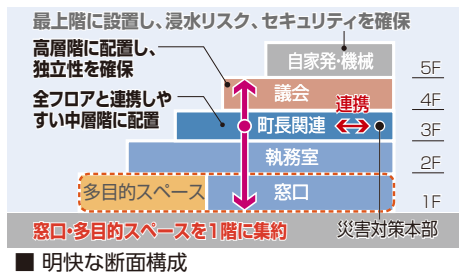
「町民ロビーを中心とする開放的で一体感のある空間」

住民サービスの向上や業務効率化、執行部を中心とした全館機能連携や議会関連諸室の独立性確保が行いやすいフロア構成とします。吹抜けの「町民ロビー」を各フロアの諸室が「コの字型」に囲み、全館（住民、議会、行政）が一体となる誰もが分かりやすい空間とします。

断面構成

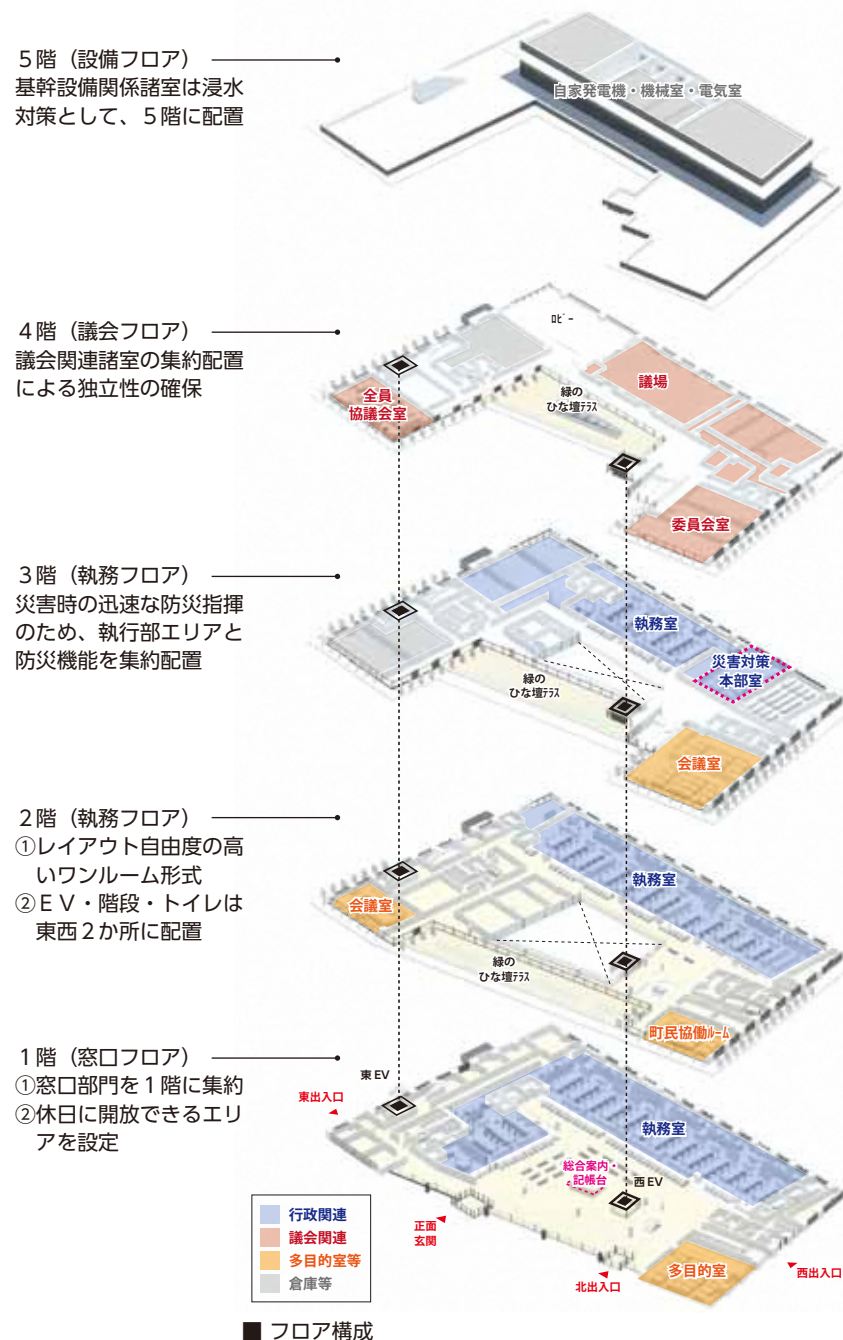
「利用しやすい明快な断面構成」

新庁舎の断面構成は、1階に窓口機能、2階に執務室、3階に町長関連、4階に議会関連を設け、町民や職員にわかりやすい明快な階構成とします。



環境配慮計画

吹き抜け空間を活用し自然採光や自然換気の促進、エネルギー消費量の少ない高効率設備機器の採用、建物の長寿命化、維持管理費用の低減などの費用対効果に優れた設備を採用します。



連載【大津町新庁舎建設基本設計書】①基本設計書 概要版

住民の皆さんに愛される庁舎をめざして

●問い合わせ 役場庁舎建設推進課 ☎096(273)8969



■ 外観イメージ
「宿場町の歴史性を喚起した“現代的な和の行まい”を目指し、大津の街並みと調和し、市民活動が外部から視認しやすい透明度の高い外壁をイメージしている。

熊本地震で被災した庁舎を再建するために町や専門委員会などが検討を重ね、新庁舎建設の基本設計書の概要版が完成しました。今回から3回にわたって内容を紹介します（内容は6月20日現在のもので今後の検討内容によっては変更の可能性もあります）。

計画方針

新庁舎建設の設計にあたっては、行政サービス、コミュニティの拠点としての役割を果たす「大津の未来を支え、町民と共に歩む、安全・安心な庁舎」として計画を行います。

また、町民のためのサービス施設として、将来の行政需要に的確に対応できる、ゆとりや弾力性、さらには、職員が働きやすい環境にも十分に配慮しつつ、長期間にわたり使用に耐えられる構造、平面、設備計画とし、機能性と効率性にすぐれた、使い勝手のよい庁舎として計画します。



■ ふかんイメージ

配置計画

「新旧のまちに向き合い、回遊性を生み出す配置計画」

新庁舎は敷地南側に配置し、町民交流施設（オークスプラザ）と一対の建築として新旧の両市街地に向き合い、それぞれの方向に顔を持つ、この敷地ならではの形態を持つ庁舎とします。新庁舎と町民交流施設（オークスプラザ）の間には橋をシンボルとするオークス広場を設けます。

BCP計画（非常時機能維持計画）

新庁舎は、防災拠点として、大地震や台風、集中豪雨などの自然災害や大規模停電などでインフラが途絶えた時に、県や国の機関、警察や消防と連携して活動するため、自立的に機能維持できる施設として整備します。

